

令和6年度の決算と事業のあらまし

令和6年度の事業概要は次のとおりです

① 給水状況

給水人口	74,525人	前年度比	976人（1.29%）の減
給水戸数	35,684戸	前年度比	18戸（0.05%）の増
総配水量	9,853,921㎡	前年度比	117,312㎡（1.20%）の増

② 建設改良

向町浄水場中央監視装置等更新工事を令和3年度から令和6年度までの継続事業として実施しました。また、向町浄水場7号ろ過機等改修工事等の水道施設の改修工事及び水道管網の整備拡充や老朽管の更新を実施し、より安全で安定した水道水の供給を図るとともに、災害に強いライフラインの構築に努めました。

令和6年度末現在、配水管の総延長は565kmとなっています。

〈令和6年度事業運営状況〉

水道事業では令和6年度に、今後の人口減少に伴う水需要の減少や施設の老朽化による更新需要の増大など、経営環境が厳しさを増す中で、将来にわたり安定した水道事業の運営を持続するため、「行田市水道事業経営戦略」を改定しました。

今後も、「行田市水道事業経営戦略」に基づき収入の確保や経費の削減に努め、健全な水道事業経営を推進してまいります。

なお、令和6年度の事業運営状況については、以下のとおりです。

指 標 名	内 容	令和6年度	令和5年度	令和4年度
経 常 収 支 比 率	(経常収益／経常費用)×100	110.3%	114.3%	113.9%
企業債残高対給水収益比率	(企業債現在高合計／給水収益)×100	370.8%	376.5%	388.3%
施 設 利 用 率	(一日平均配水量／一日配水能力)×100	51.9%	51.1%	50.7%
管 路 更 新 率	(当該年度に更新した管路延長／管路延長)×100	0.27%	0.41%	0.27%

- 経 常 収 支 比 率

…収益で費用をどの程度賄えるかを表す指標で、単年度収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要です。
- 企業債残高対給水収益比率

…給水収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標です。
- 施 設 利 用 率

…一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。
- 管 路 更 新 率

…当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できます。

令和6年度 水道事業会計の決算概要は次のとおりです

① 収益的（営業部門）収支（金額は税抜きで表示）

収益的収支は、水道水を供給するなどの営業活動の結果を表すものです。

収入	1,719,842千円	前年度比	13,493千円（0.79%）の増
支出	1,559,387千円	前年度比	64,453千円（4.31%）の増

収支差引額（純利益） 160,455千円 前年度比 50,960千円（24.10%）の減

The chart shows the breakdown of income and expenses. Income (1,719,842 thousand yen) consists of water fees (1,390,550 thousand yen, 80.85%), long-term advance payment refund (209,159 thousand yen, 12.16%), and other (120,133 thousand yen, 6.99%). Expenses (1,559,387 thousand yen) consist of maintenance and management fees (863,247 thousand yen, 55.36%), depreciation and disposal fees (621,615 thousand yen, 39.86%), and interest payments (74,525 thousand yen, 4.78%). The net profit is 160,455 thousand yen.

② 資本的（建設部門）収支（金額は税込みで表示）

資本的収支は、水道施設の建設・改良工事及び企業債償還などにかかる資金の収支を表すものです。

収入	458,565千円	前年度比	15,866千円（3.58%）の増
支出	1,494,720千円	前年度比	7,066千円（0.47%）の減

収支差引で1,036,155千円の資金不足となりましたが、この不足額は減価償却費などの内部留保資金で補てんしました。

The chart shows the breakdown of capital income and expenditure. Income (458,565 thousand yen) consists of corporate bonds (360,000 thousand yen, 78.51%) and other accounting subsidies (45,879 thousand yen, 10.00%). Expenditure (1,494,720 thousand yen) consists of construction and improvement costs (1,034,161 thousand yen, 69.19%) and corporate bond redemption (460,559 thousand yen, 30.81%). The funding gap is 1,036,155 thousand yen, which was covered by internal reserves.